

低ランニングコストで廃液を分離

サンアップ 廃棄物だけでなくCO₂も削減

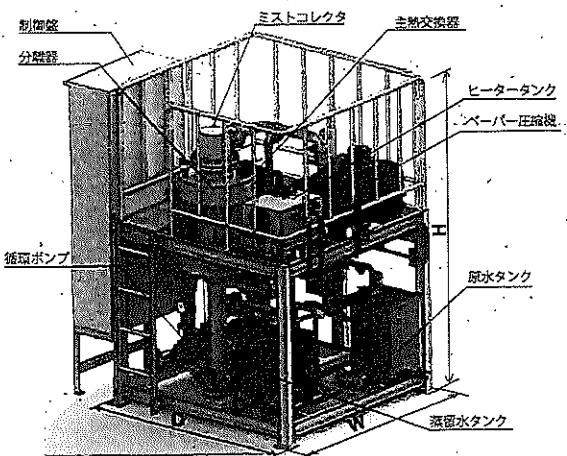
産業廃棄物事業や省エネ・環境機器事業等を展開するサンアップ（茨城県つくば市、鈴木和孝社長、☎029・8852・4490）は、廃水減容化装置「Rock-Es」(Rock Engineer ing社製)の販売を日本国内販売元として開始した。スチームレス化による低ランニングコストを実現し、廃棄物の発生抑制によってCO₂削減にもつな

がる。

Rock-Esは、メッキ廃液や油分を含む廃液等の液体産業廃棄物を蒸留・減容化する装置で、水と重金属、油分等を分離すること

で産業廃棄物の排出量を削減することができ

る。蒸留・減容化工程に必要な熱源にはスチームを使用しないヒート



Rock-Es

ポンプサイクルを採用しており、装置の稼働には電気、水、エアのみが必要となっている。スチームレス化により化石燃料の使用がなく、排出CO₂・ランニングコストは従来機比で80%以上抑制している。また、減容化によって廃棄物の量が削減されるため、処理に係る排出CO₂も減らすことができる。

装置は▽分離器▽循環ポンプ▽ミストコレクタ▽主熱交換器▽ヒータータンク▽ペーパー圧縮機▽原水タンク▽蒸留水タンク等で構成している。

処理能力100㍻/時、200㍻/時、300㍻/時の3機種を用意している。最小のサイズが幅×奥行×高さ11620×11620×2350mm以内で、同社の従来機比で小型化している。

同社担当者は「元々はタイをはじめとしたアジア各国で採用されている装置で、日本での展開はまた始まったばかり。日本以上に廃棄物の処理コストの低いアジアのマーケットでも導入実績が数多くあり、日本国内でもニーズのある会社が多くいるはずだ。廃棄物を減らすだけでなく稼働時の環境負荷も少ないため、全国に広く訴求していきたく」と話している。